

c 伊勢志摩圏域

- ・地形的な制約もあって市街地の拡大は顕著ではありませんが、宅地開発やレクリエーション施設開発等による部分的なみどりの減少が生じています。
- ・山地では採石場等によるみどりの減少も生じています。

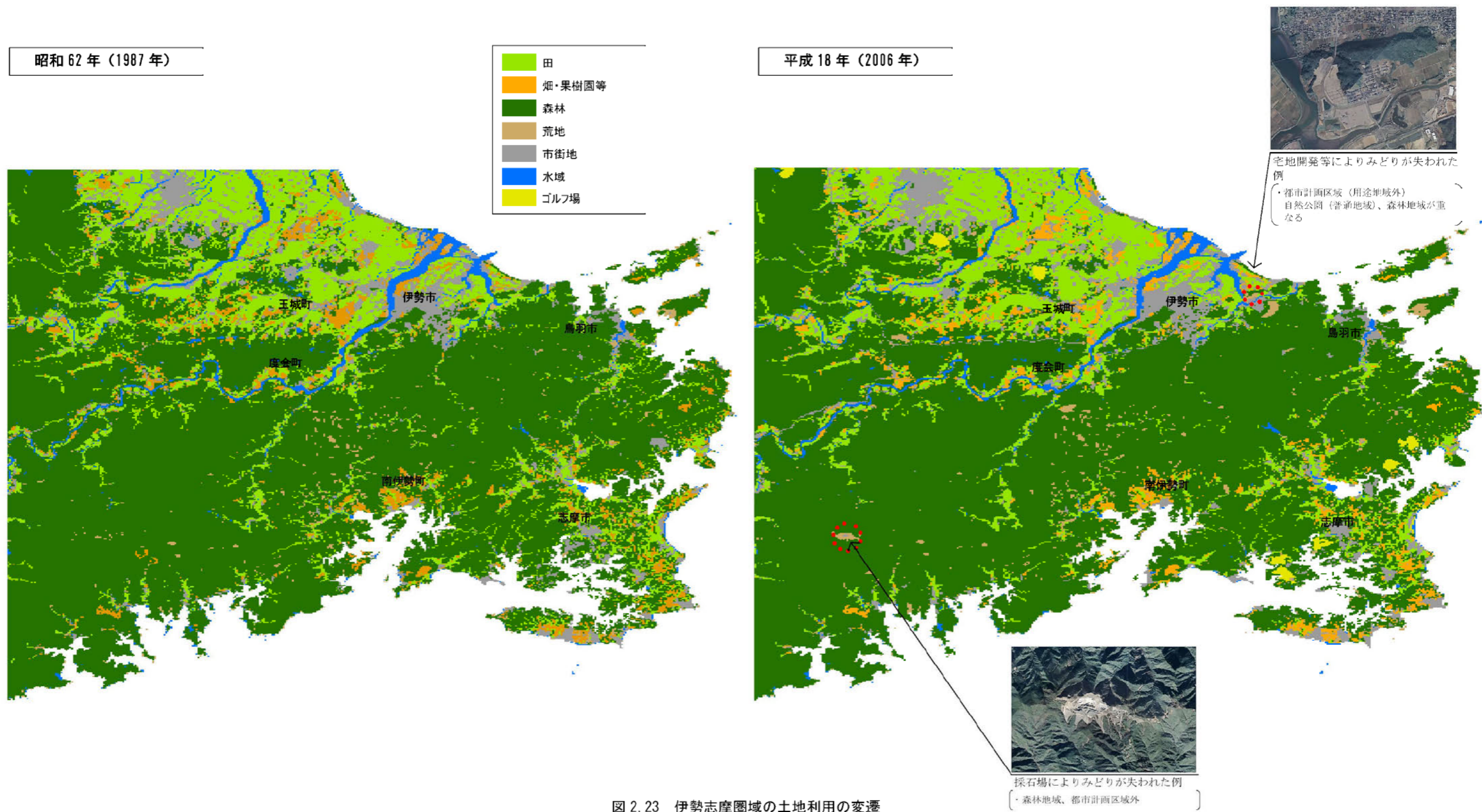


図 2.23 伊勢志摩圏域の土地利用の変遷

メッシュ図 出典：国土数値情報、土地利用 100m 細分メッシュデータ (国土交通省)

注) 「ゴルフ場」の土地利用区分は平成9年(1997年)データより追加されており、昭和62年(1987年)のデータでは「市街地」として判定されています。

航空写真 出典：Mie Click Maps (三重県地図情報サービス)

d 伊賀圏域

・伊賀市、名張市の両市とも既成市街地周辺の農地（主に田）が失われ、市街地が拡大していることが分かります。また、伊賀市、名張市の両市では、丘陵での大規模な宅地開発によりみどりが失われています。

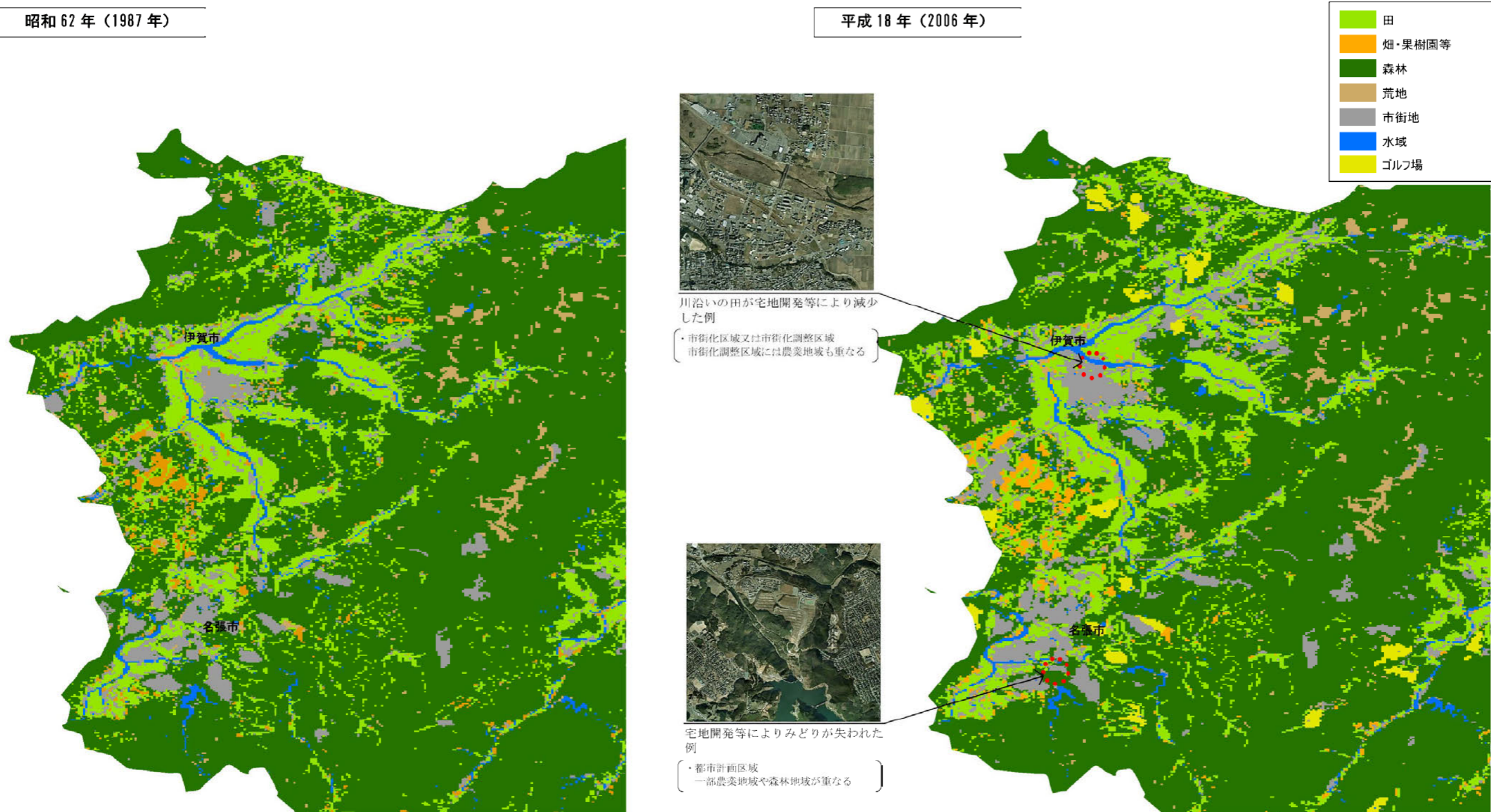


図 2.24 伊賀圏域の土地利用の変遷

メッシュ図 出典：国土数値情報、土地利用 100m 細分メッシュデータ（国土交通省）

注）「ゴルフ場」の土地利用区分は平成 9 年（1997 年）データより追加されており、昭和 62 年（1987 年）のデータでは「市街地」として判定されています。

航空写真 出典：Mie Click Maps（三重県地図情報サービス）

e 東紀州圏域

- ・地形的な制約があるため市街地の拡大は限定的ですが、熊野市や御浜町等で農地が減少していることが読み取れます。

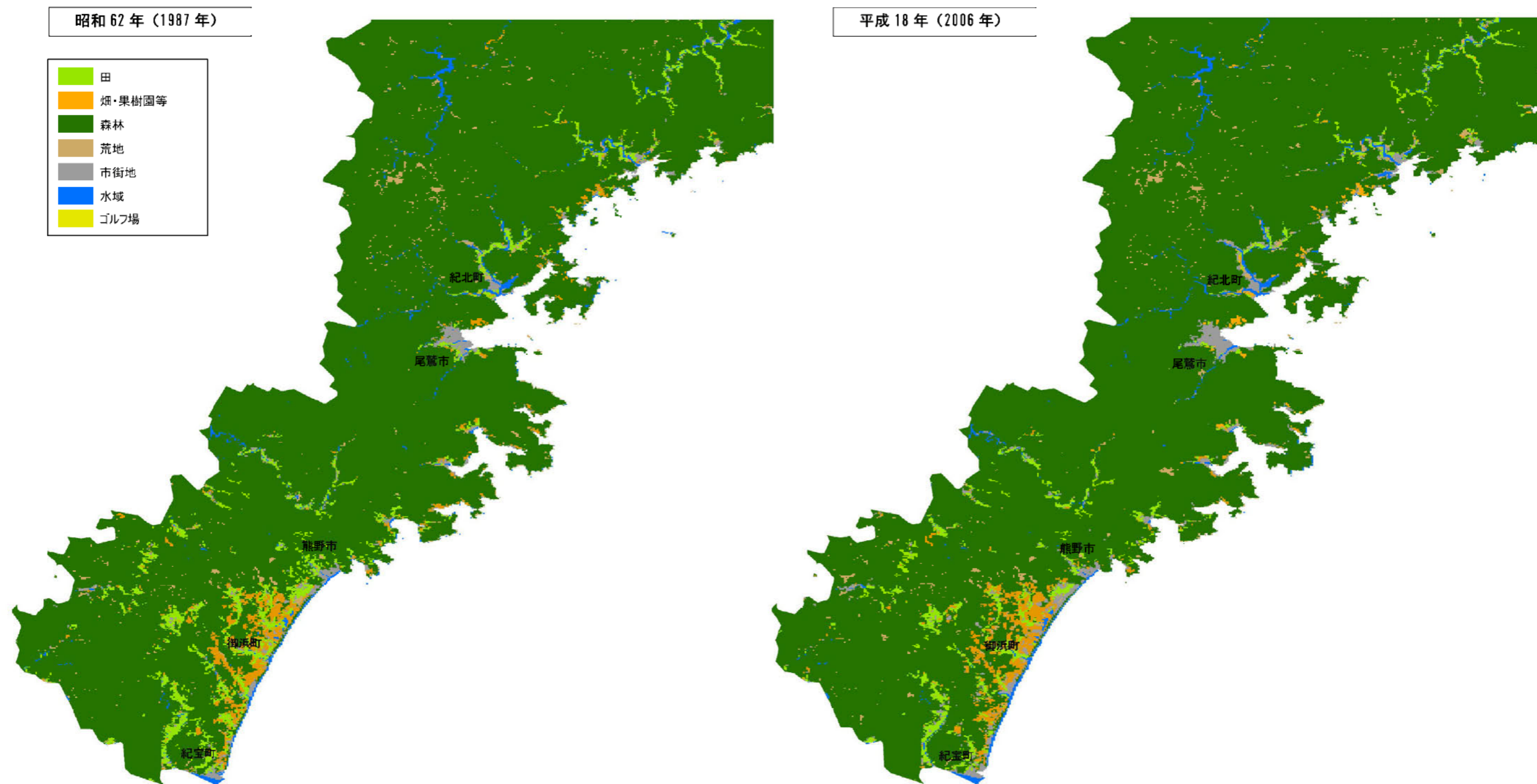


図 2.25 東紀州圏域の土地利用の変遷

メッシュ図 出典 : 国土数値情報、土地利用 100m 細分メッシュデータ (国土交通省)

注) 「ゴルフ場」の土地利用区分は平成 9 年(1997 年)データより追加されており、昭和 62 年(1987 年)のデータでは「市街地」として判定されています。